

# 経済為替ニュース

SUMITOMO MITSUI TRUST BANK, LIMITED FX NEWS

第 2 2 3 1 号

2 0 1 4 年 1 0 月 1 4 日 (火曜日)

## 《 U. S. Stocks Drop Again 》

今週はマーケットが既に始まっていますから、簡潔に。月曜日はアメリカ市場もロンバースデーで為替市場や債券市場は休みでした。

取引が行われた月曜日の世界のマーケットで、あえて先週と大きく違う特徴的なこととして指摘できるのは、「ヨーロッパの株価の小反発」でしょうか。先週一週間の世界の市場ではヨーロッパ、特にドイツの株の下げがきつく、これがニューヨークを含む世界中の株価を不安定にした。ドイツの代表的株価指数 (DAX) はつい最近 10000 の大台に乗ったばかりだったが、その後に急落、先週末は 8800 の水準も割っていた。

しかし月曜日には不安定な動きを見せながらも代表的株価指数である DAX は 23.62 ポイント上昇して 8812.43 で終わった。一時はもっと大幅に上げていたこともあるし、マイナス圏に入ったこともあったが、引けは「小幅高」という印象。その他のヨーロッパのマーケットは FTSE100 (イギリス +26.27)、CAC40 (フランス +4.99) と小幅な上げで終わった。もともと日米の市場が休場・一部休場の気迷い、薄商いの中での週明け取引であって、これでデフレ懸念、リセッション懸念のあるヨーロッパ市場が落ち着いたのかどうかは不明。

今週の世界のマーケットに不安が残ることを改めて示したのは、ニューヨーク株の引けにかけての、またしても急落です。同市場の株は、午前中のヨーロッパ市場開場中は上げたり下げたり展開だった。確か寄りつきのダウ工業株 30 種平均は 30 ドル高程度だったと思う。しかしその後はもみあい。下げたのは午後遅くになってから。一挙に下げに転じる形でダウは 223 ドル 03 セント安の 16321.07 ドルとなった。高値から見て下げが 1000 ドルに達しようかという水準。その他の株価指標も大幅安で、S&P500 は 31.39 ポイント安の 1874.74、NASDAQ は 62.58 ポイント安の 4213.66。

下げの特定の要因はなく、引き続き「世界経済不安」や「FRB の政策に対する不安」、それにあえて言えばアメリカ国内でのエボラ出血熱の二次感染 (院内感染) など。午前中はむしろシカゴ連銀のチャールズ・エバンス総裁の「the “biggest risk” to the economy is premature rate increases」という発言を受けて上げる局面もあっただけに、午後の急落は商いが薄かったとは言え今の市場の不安定さを如実に示したと言える。このニューヨーク株価急落を受けて、ドル・円は朝の段階で 106 円台後半の動きとなっている。

今のアメリカのマーケットの動きは、金融政策が大きく変化するときにはいつも見られ

る現象の一環だと思う。特に緩和から引き締めに向かう段階のマーケットはいつもがたがたする。今回は QE3 の終了であって、むしろ「引き締め」ではない。しかし政策の大きな展開点であって、マーケットがそれにやっと身構え始めたとも言える。また直近の株価が史上最高値圏にあったということも利食いの動きを加速させている可能性も強い。しかし今のうちにこの先下げ続けることもないだろう。マーケットはしばしば総悲観の中で転換点を迎える。もしかしたら今週は、好調な企業決算などを手がかりにニューヨークの株価が一つの転換点を迎える可能性があると思う。ニューヨークの株価の派手な下げっぷりに比べると、円相場の上げ（ドル安）は緩い。ドル円には基本的に下げ圧力がかかっている証拠と見られる。

-----  
今週の主な予定は以下の通り。

- |             |  |
|-------------|--|
| 10月13日（月曜日） | 中国9月貿易統計<br>インド9月消費者物価<br>ユーロ圏財務相会合<br>米コロンバスデー(為替・債券市場が休場)  |
| 10月14日（火曜日） | 9月マネーストック<br>9月企業物価<br>9月投信概況<br>インド9月卸売物価<br>シンガポール7~9月期 GDP 速報値<br>シンガポール金融通貨庁の政策決定会合<br>英9月消費者物価<br>ユーロ圏8月鉱工業生産<br>独10月 ZEW 景気予測指数<br>EU 財務相理事会 |
| 10月15日（水曜日） | 中国9月消費者物価・卸売物価<br>9月マンション市場動向<br>韓国銀行の金融通貨委員会<br>英6~8月失業率<br>米10月ニューヨーク連銀景気指数<br>米9月小売売上高<br>米9月卸売物価<br>米8月企業在庫<br>米ベージュブック                        |
| 10月16日（木曜日） | ユーロ圏8月貿易収支<br>米新規失業保険申請件数  |

米 9 月鉱工業生産  
米 10 月フィラデルフィア連銀景気指数  
米 10 月 NAHB 住宅市場指数  
アジア欧州会議首脳会合 (ASEM ～17)  
10 月 17 日 (金曜日) 8 月対米証券投資  
9 月電力需要実績  
マレーシア 9 月消費者物価  
欧州 9 月新車販売  
米 9 月住宅着工  
米 10 月ミシガン大学消費者態度指数速報値

### 《 have a nice week 》

3 連休はいかがでしたか。台風は日本という列島に貴重な水をもたらす。だからこの列島が世界でも例のないくらい「緑豊かな列島」になっているのは台風のおかげです。私は世界各国に行きますが、熱帯雨林を除けばちょっとの隙間で日本ほど緑が顔を出す列島、土地はない。水不足が世界的な問題になりつつある中ではこの緑は貴重です。

しかし台風が列島を縦断となるとやはりいろいろな問題が起きる。それにしても誰が設計したのか知りませんが、日本列島は実にうまく台風の進路にはまるように出来ている、と思う。今回の台風は日本全国津々浦々に雨をもたらしてくれたのではないのでしょうか。そのおかげで 3 連休の 3 日目はメチャメチャだったという人も多い。私は 13 日を避けて 12 日に東京から大阪に移動したのですが、同じような思いの人が「夜 8 時 50 分東京発」という最終に近い列車 (のぞみ) だったのですが、それ故に指定席は全部売り切れ、自由席はメチャ込みで販売の手押し車も通れないという状況でした。

それにしても、台風の来たときの“騒ぎ具合”も尋常ではなくなってきたような気もする。むろん必要なことは分かりますが。私が知っている限りでは NHK なんて昨日は一日台風情報一色でした。しょうがないので、それは時々見て主に BS1 を見ていました。あまり同じ情報が繰り返し流されるのは価値があるのかどうなのか。むしろ放送電波の帯はいろいろあるので、それを使ってもっと多様な放送ができないのかなどと考えました。

今年はまだ来るんでしょうか。今朝は私がこの文章を書いている関西では「秋の深まり」といった感じです。今朝のテレビ番組の中で気象予報士の方が言っていたのは、「台風の風の吹き返し」。日本の場合は台風の左巻きの風は台風の西側で「北風」になる。だから寒くなるのだ、と。「台風は来る度に秋を連れてくる」とは、そのことを言っていたのですね。

それでは皆様には良い一週間を。

《当「ニュース」は三井住友トラスト基礎研究所主席研究員の伊藤(E-mail [ycaster@gol.com](mailto:ycaster@gol.com))の相場見解を記したものであり、三井住友信託銀行の見通しとは必ずしも一致しません。本ニュースのデータ

は各種の情報源から入手したのですが、正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。  
また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》